



# 日本への持ち込みが禁止されている主な植物と地域

これらは代表的なものです。詳しくは植物防疫所におたずねになるか、ホームページ <http://www.maff.go.jp/pps/> をご覧ください。

◆チチュウカイミバエやミカンコミバエが発生しているこれらの国や地域からは、ほとんどの果実・果菜類が持ち込めません。



◆コドリンガが発生しているこれらの国や地域からは、リンゴやサクランボの果実、殻付きクルミなどが持ち込めません。



◆次の植物については、検査を受け、病害虫がいなければ持ち込むことができます。



◆次の植物についても、持ち込みが禁止されています。

- ◇アジア、アメリカ、ハワイ、オーストラリア、アフリカなどからの『サツマイモなど（生茎葉も含む）』
- ◇アメリカ、ハワイからの『カンキツ類苗木、アンスリューム苗など』
- ◇ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、ニュージーランドなどからの『ムギワラ』
- ◇アメリカ、カナダ、メキシコ、ヨーロッパ、ニュージーランド、イスラエル、イランなどからの『リンゴ、ナシ、サンザシ、ピラカンサなどの苗や切花など。』

## ●侵入を警戒している主な病害虫

海外には日本の農林業に重大な被害を与えるおそれのある病害虫が多く存在しています。それらが国内に侵入することを防ぐため、海外から持ち込まれるすべての植物類について植物検疫を行っています。また、日本に未発生で世界的に被害が大きい病害虫が発生している国や地域からは、多くの植物の持ち込みが法律で禁止・制限されています。

国内への侵入を警戒している病害虫は、これら以外にもたくさんあります。

### ●ミバエ類

果実・果菜類の大害虫。幼虫が果肉を食害し、収穫できなくなる。世界の広範囲に分布。



### ●コドリンガ

リンゴやナシなどの大害虫。成虫が熟していない果実や葉の表面に卵を産み、生まれた幼虫は果実を食害する。



### ●カンキツネモグリセンチュウ

多くの植物、特にミカン科果樹に大きな被害を与える線虫。寄生された植物は枯れてしまう。



### ●ジャガイモがんしゅ病

ジャガイモに大きな被害を与える病気。イモにコブをつくり腐らせる。



ミバエ類の幼虫は、果実の内部を食いあらすため、被害を受けていても外観からはわかりません。

